



住宅火災から大切な命を守ろう!



住宅火災の死者が増加!

平成30年中の住宅火災は、前年より113件減少していますが、住宅火災による死者は、前年より7人増加し66人が亡くなっています。

今年に入ってから57人(1月~7月)が亡くなっており、昨年1年間の死者に早くも迫る勢いです。火災を防ぐポイントを知って、防火対策をしましょう!

住宅火災による死者の半数以上が高齢者だけの世帯で発生!

住宅火災による死者に占める高齢者(65歳以上の方)の割合は7割以上*で、半数以上が高齢者だけの世帯で発生しています。高齢者は、火災に気が付くのが遅れたり、避難に時間がかかることがあります。特に注意が必要です。 ※平成30年東京消防庁管内

死者が発生した住宅火災の主な出火原因

たばこ



- 飲酒後の寝たばこ中に、たばこの火種が布団などに落下して出火しています。
- 吸殻をためるなどの不始末から出火しています。

たばこによる火災を防ぐポイント

- 寝たばこは、絶対にしない
- 飲酒→喫煙→うたた寝に注意
- 吸殻を灰皿にためない
- 吸殻は水で完全に消してから捨てる

こんろ



- 住宅火災での出火原因ナンバーワンです。
- 火をつけたまま放置・忘れることで出火しています。
- 着ている服や可燃物への着火により死者が発生しています。特に高齢者の割合が高くなっています。

こんろによる火災を防ぐポイント

- 調理中に離れない
- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 防災製品のエプロンやアームカバーを使用する
- 火が鍋底からはみ出さないように調節する
- 安全機能(Siセンサー)付きこんろを使用する

ストーブ



- ストーブによる火災の多くが電気ストーブによるものです。
- ストーブの近くに燃えやすいものを置いたことで着火し、出火しています。

ストーブによる火災を防ぐポイント

- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 外出時、就寝時は必ず消す
- 石油ストーブ等は必ず消してから給油する
- ストーブの近くで洗濯物を乾かさない

緊急時にも役に立つ 東京消防庁公式アプリ

無料

第35号特別 消防レアカード プレゼント!



救急サポート・防災訓練マップなどコンテンツがいっぱい!

もう一度確認 安心 火の用心

「令和元年度東京消防庁防火標語」

作者 菅野 珠加さん(江戸川区在住)



秋の火災予防運動 11月9日(土)~11月15日(金)